

船舶事故調査報告書

平成26年9月25日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	火災
発生日時	平成26年3月22日 10時30分ごろ
発生場所	広島県呉市倉橋島北方沖 呉市所在の音戸灯台から真方位330° 930m付近 （概位 北緯34° 12.4′ 東経132° 31.9′）
事故調査の経過	平成26年3月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{なかよし} 中吉丸、16.76トン HS2-1709（漁船登録番号）、個人所有 13.60m (Lr) × 4.20m × 1.32m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数80、昭和56年8月12日
乗組員等に関する情報	船長 男性 73歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和53年3月31日 免許証交付日 平成25年1月31日 （平成30年7月8日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	機関室、操舵室及び上甲板が焼損
事故の経過	本船は、船長及び甲板員が乗り組み、倉橋島北方沖を南東進中、平成26年3月22日10時30分ごろ、突然、主機が止まったので、船長及び甲板員が機関室に点検に行ったところ、黒煙が立ちこめ、主機の右舷船首方に炎が見えたことから、甲板員がポリタンクに入っていた水を掛けたものの、火勢が強まった。 船長は、海上保安部に連絡した後、付近を航行していた船に甲板員と共に救助された。 本船は、巡視船艇による消火活動中に沈没し、その後、引き揚げられ、解撤処分された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m
その他の事項	本船は、機関室右舷側の焼損が激しかった。 船長は、出航前に機関室内を点検し、異常を認めなかった。

	<p>主機の燃料系統配管には、異常がなかった。</p> <p>本船は、平成25年11月に中古で購入された。</p> <p>(写真1 本船の状況、写真2 主機の左舷側の状況、写真3 主機の右舷側の状況 参照)</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、倉橋島北方沖を南東進中、機関室右舷側から出火したものと考えられるが、出火した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、倉橋島北方沖を南東進中、機関室右舷側から出火したことにより発生したものと考えられる。</p>

写真1 本船の状況



写真2 主機の左舷側の状況



写真3 主機の右舷側の状況

